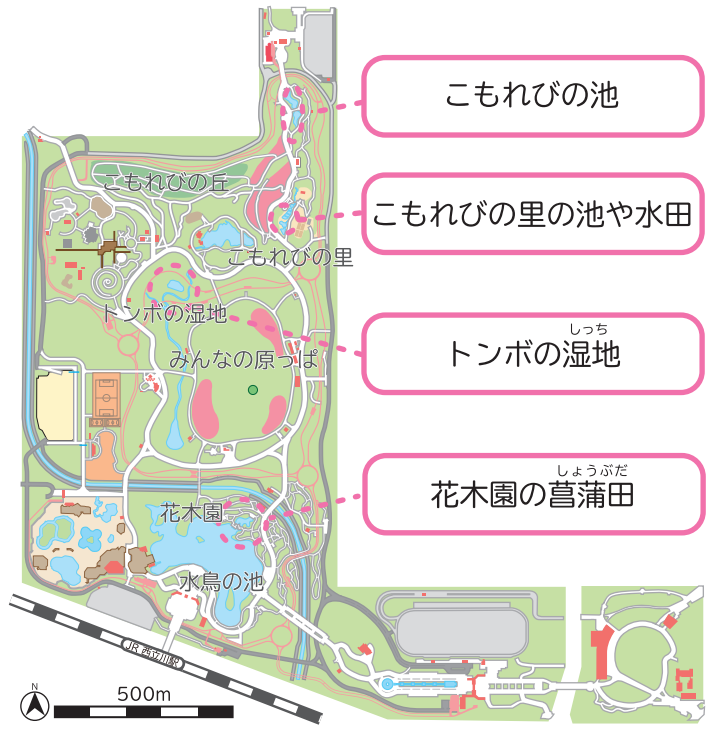


トンボのすむ水辺

昭和記念公園では人が楽しみ、生きものが暮らせるように、いくつもの池や湿地しつちが造られました。今ではここに約45種のトンボが生息しています。

トンボさがしスポット

ピンク色の点線で囲んだ場所は、トンボの仲間がよく観察できるところです。



- トンボがいるのはこんなところ
- 植物のある池や湿地
 - 池や湿地に近い林の中
 - 木の上の高いところ
 - ※ 種によって好きな場所が違ちがうよ

公園のきまり

- ・園内の生きものは採取したり、持ち帰らないようにしましょう。
- ・立ち入ってもよい場所か確認して観察しましょう。
- ・スズメバチに出合ったら、立ち去るまでじっと待ちましょう。

春のトンボ セルフガイド



厳しい冬を幼虫ようちゆうの姿で過ごし
春一番に成虫になったトンボたち。
春先に見られるトンボを
観察してみよう。



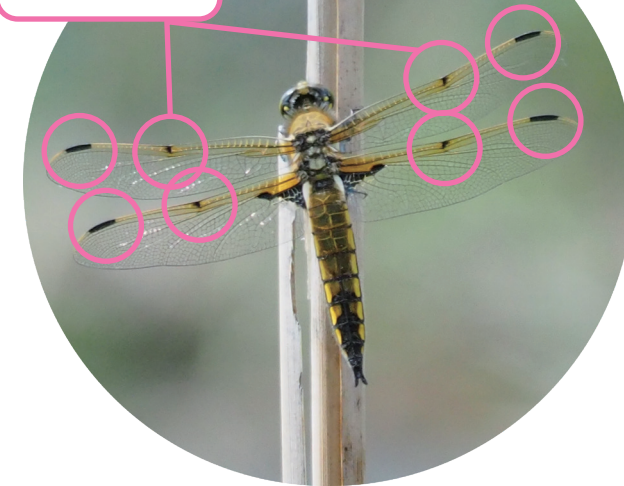
春にみられるトンボの仲間

昭和記念公園で春によく見られるトンボの仲間を紹介します。

ヨツボシトンボ

- 昭和記念公園の春のトンボの代表種
- 成虫がみられる時期：4月中旬～6月
- 幼虫の期間：約1～2年
- 越冬：幼虫
- 希少性：東京都レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類（VU）
かつては多摩地域の谷戸（丘と丘の間にある狭い谷）の湧水地で多数生息していた。
ヨシなどの水生植物が豊かな水辺に生息する。

4つの黒い点



春のトンボの暮らし

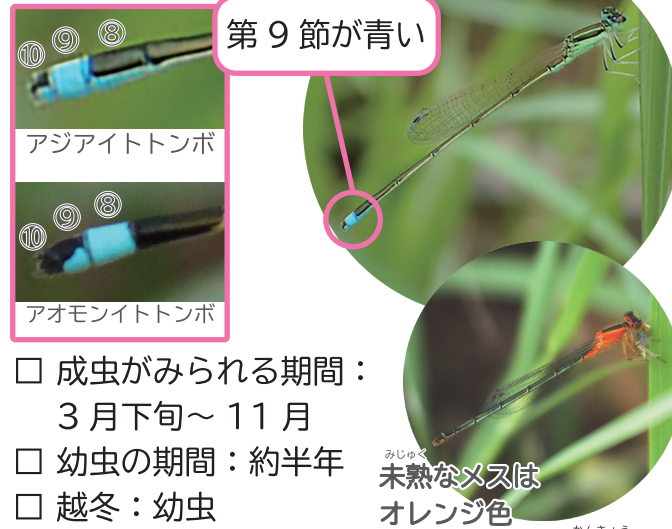
ヨツボシトンボは、昭和記念公園で春にみられるトンボの代表です。春先に一斉に羽化します。オスとメスが出会うと、交尾を行い、水中に卵を産みます。孵化した幼虫は、生まれてから1～2年の間は水の中で過ごします。ヨツボシトンボが暮らすには、年間を通して水がある池や湿地が必要です。

ハラビロトンボ

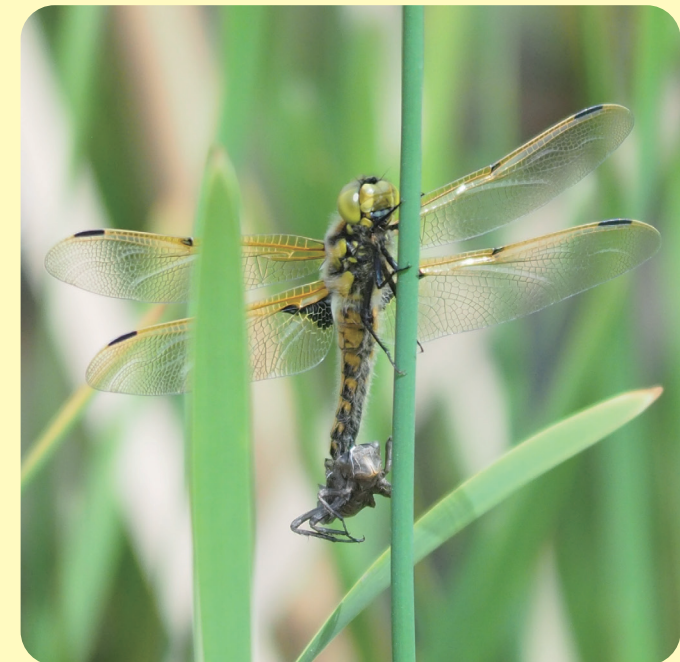


- 成虫がみられる期間：4月下旬～10月
- 幼虫の期間：約1年
- 越冬：幼虫
- 希少性：東京都レッドリスト準絶滅危惧種（NT）
水生植物が豊かな湿地に生息する。

アジアイトトンボ



- 成虫がみられる期間：3月下旬～11月
- 幼虫の期間：約半年
- 越冬：幼虫
- 希少性：ビオトープ池など人工的な環境でもよく見られ、寒さに強い。



ヨツボシトンボが羽化する様子